

りそな 経済フラッシュ

(日本4-6月期GDP1次速報値)

◎注意事項をよくお読み下さい

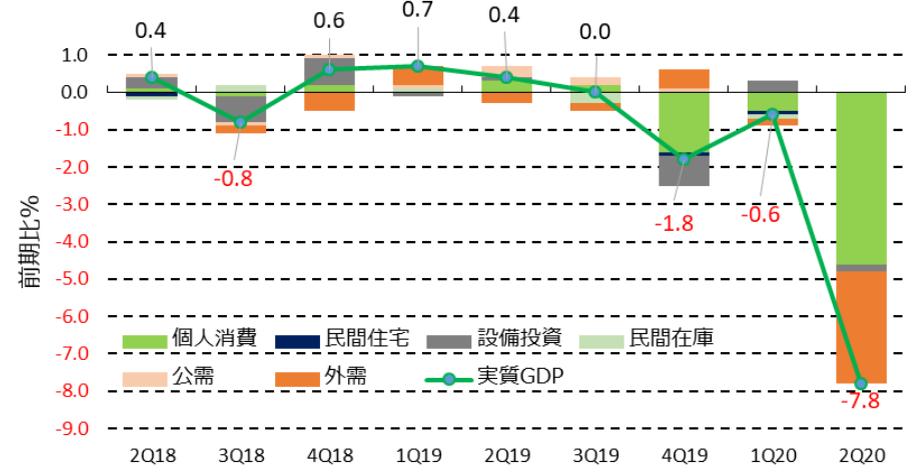


〇概況

- ◆4-6月期GDPは前期比▲7.8%（年率▲27.8%）と統計開始以来最大のマイナス幅
- ◆市場予想でも同程度のマイナスを想定しており市場への影響は限定的
- ◆個人消費が弱かったほか外需が大きくマイナス寄与

- ✓ **2020年4-6月期実質GDP1次速報値は、前期比▲7.8%（年率▲27.8%）と3四半期連続のマイナス、統計開始以来最大のマイナスとなった。**一方、市場予想でも前期比年率▲26.9%と同程度のマイナスが事前に想定されており、市場への影響は限定的となった。
- ✓ 個人消費が前期比▲8.2%と新型コロナウイルスによる外出制限の影響で大きく減少。一方で設備投資が前期比▲1.5%と減少したものの、コロナ禍の中でも予想ほどの落ち込みとはならず比較的底堅かった。
- ✓ **外需は大幅なマイナス寄与となった。**輸出は欧米向けの自動車等を中心に大きく需要が減少したことで前期比▲18.5%と大幅な落ち込み。一方で輸入はテレワーク需要による関連製品やマスク等の医療物資の輸入が増えたことで同▲0.5%と小幅な減少に留まった。これを受け外需の寄与が▲3.0%pと過去最低。（輸入のマイナスはGDPにはプラス寄与）
- ✓ **GDPデフレーターは前年同期比+1.5%と6四半期連続で上昇。**
- ✓ 国内景気は緊急事態宣言解除とともに持ち直しの兆しが見えつつある。外需も海外経済の再開とともに自動車需要の回復が輸出を牽引するだろう。**7-9月期は大幅な反動増とみられる。**ただし足元では新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒も広がる中で、今後の回復ペースは緩やかなものに留まるとみられる。**経済回復の軌道は新型コロナの感染動向次第であり不透明な状況が続く。**

【実質GDP成長率 需要項目別】



特記ない項目は 前期比	2019			2020	
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
実質GDP (前期比年率)	1.7	0.2	-7.0	-2.5	-27.8
実質GDP	0.4	0.0	-1.8	-0.6	-7.8
民需	0.6	0.1	-3.2	-0.5	-6.5
個人消費	0.5	0.4	-2.9	-0.8	-8.2
民間住宅	-0.2	1.2	-2.2	-4.2	-0.2
設備投資	0.8	0.2	-4.7	1.7	-1.5
民間在庫 (寄与度)	0.0	-0.3	0.0	-0.1	0.0
公需	1.2	0.9	0.4	0.0	0.0
政府消費	1.0	0.8	0.3	0.0	-0.3
公共投資	1.4	1.1	0.6	-0.5	1.2
外需 (寄与度)	-0.3	-0.2	0.5	-0.2	-3.0
輸出	0.2	-0.6	0.4	-5.4	-18.5
輸入	1.8	0.7	-2.4	-4.2	-0.5

【出所】内閣府、Bloomberg、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。